

「会津心不全地域連携 心不全情報シート」改訂のお知らせ

2023年4月

会津若松医師会会長 矢吹 孝志  
循環器病委員会理事 寺田 功一  
委員長 大原 直人  
実務責任者 鈴木 聡

会津若松市では少子高齢化、2025年問題に直面する中、確実に医療需要が増えると見込まれる心不全患者に対し、少ない医療資源で安心な医療を提供するためには地域の特色を生かした医療連携が必須と考えます。全国的には2018年12月に「健康寿命の延伸などを図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病にかかる対策に関する基本法」が成立し、2020年10月には循環器対策推進基本計画が閣議決定され、これにより年々新規発症が増加している心不全の予防・治療の国民啓発や、治療体制の整備の環境が整いつつあります。また、厚労省の研究班からの報告では地域連携の重要性が求められ、その一つとして情報共有システムの構築は有効であるとされています。

今回、会津地区の心不全治療をより充実させるため、循環器病委員会が中心になり包括的に対策を考え、取り組んでいます。その中でより良い心不全連携構築のため、急性期病院とかかりつけ医が患者情報を共有できる連携ツールを用いた医療連携を2021年から開始しておりますが、この度、より使いやすく改訂いたしましたので、会津若松医師会員の皆様にお知らせいたします。

【目的】 連携医療機関と急性期病院が患者の治療経過や生活の情報を共有し、包括的に管理することで心不全増悪の予防および長期予後の改善を図ります。

【対象患者】 ■病院→かかりつけ医版 心不全情報シート Ver.2  
・・・ 症状が安定した心不全患者  
■かかりつけ医→病院『診療情報提供書<心不全情報シート版>』  
・・・ 心不全の増悪が疑われ、主に心不全の診療を希望する場合

【方法】 心不全患者が退院する際、『心不全情報シート』を活用し、患者情報を共有します。  
心不全情報シートには「心不全に関する医学的情報」「生活に直結する情報」「症状増悪時の再紹介の目安や基準」が記載されます。今回、項目を一部修正いたしました。  
また、今回新たに『診療情報提供書 <心不全情報シート版>』を作成しました。  
かかりつけ医から病院へ、心不全患者を紹介する際に活用いただけます。

【期間】 2023年4月より

・心不全情報シートは、今後、必要に応じて適宜修正を行うことが可能です。

【問い合わせ先】

一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院 循環器内科 科長 鈴木 聡

〒965-8585 福島県会津若松市山鹿町3番地27号 電話:0242-27-5511 FAX: 0242-27-5670